

2025 年 5 月 15 日  
株式会社 高島屋  
東神開発株式会社

## 玉川高島屋 S・C 屋上庭園「フォレストガーデン」「ローズガーデン」

### 環境省の「自然共生サイト」に認定

～高島屋グループの施設として初の認定～

株式会社高島屋（本社：大阪市中区、代表取締役社長：村田善郎、以下「高島屋」）の連結子会社である東神開発株式会社（本社：東京都世田谷区、代表取締役社長：倉本真祐、以下「東神開発」）が運営する玉川高島屋ショッピングセンターの屋上庭園「フォレストガーデン」および「ローズガーデン」が、環境省の令和 6 年度後期「自然共生サイト※1」に認定・登録されましたのでお知らせいたします。なお、高島屋グループが運営する区域が認定・登録されるのは初めてのこととなります。



玉川高島屋 S・C の屋上庭園では、周辺の多摩川や国分寺崖線をつなぐ“ハブ”となる緑地をめざし、多様な生きものが集まり、育ちやすい環境を提供してまいりました。現在では、合計 4,300 m<sup>2</sup>の屋上庭園に約 160 種類の植物が生育しており、人と生きもの、双方の「憩いの場」となっています。今回の審査では、創業当時から続く緑園づくりや環境教育への取り組みが評価されたことにより、この度、環境省「自然共生サイト」に認定・登録されることとなりました。

「自然共生サイト」認定制度は、環境省が 2023 年度に開始した制度で、「30by30※2」の目標達成に向けて、民間や自治体などが所有している生物多様性の高い地域を自然共生サイトとして認定するものです。自然共生サイトとして認定された後、国際データベースである OECMs※3 にも登録される予定です。

高島屋グループでは、経営理念における指針のひとつに「地球環境を守るためのたゆまぬ努力」を掲げ、地球温暖化防止や CO2 排出量削減を中心に、これまでもさまざまな活動に取り組んでまいりました。今後も気候変動に伴う自然災害の頻発化、記録的な高温、生物多様性への影響など、環境問題への取り組みの重要性が高まる中、当社グループは、地球環境を重要なステークホルダーと捉え、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

※1 「民間等の取り組みによって生物多様性の保全が図られている区域」として環境省の認定を受けた区域の名称

※2 2030 年までに、陸と海の 30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする国際的な目標

2022 年 12 月に開催された国連生物多様性条約第 15 回締約国会議（COP15）において採択された

※3 Other Effective area-based Conservation Measures の略称、国立公園などの保護地域以外で生物多様性保全に資する区域

以上